令和7年度 事業計画・予算

基本方針

少子高齢化や人口減少、核家族や単身世帯の増加等により地域における人と人のつながりが希薄となり、地域、家庭といった生活の様々な場面において、支え合いの基盤が脆弱化しています。また、「８０５０問題」、「育児と介護のダブルケア」、「ヤングケアラー」、「児童虐待」、「ひきこもり」といった、一つの世帯に複数の問題が存在している状態や、社会的孤立を起因とした複雑・複合的な課題が深刻化しています。

一方、国では、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」と「受け手」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていける地域共生社会推進の観点から、令和３年度に「重層的支援体制整備事業」が創設されました。

このような中、本協議会では、第3次越谷市地域福祉活動計画に基づき、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、引き続き、市と協働して包括的な支援体制の整備に取り組んでまいります。

また、住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、相談支援体制や権利擁護支援体制の充実を図るとともに、子育て支援事業や福祉教育、各種講座等を拡充し推進してまいります。

なお、第3次越谷市地域福祉活動計画が令和7年度で最終年度を迎えることから、第3次計画の取り組み状況等を踏まえ、引き続き、市が策定する地域福祉計画と整合性を図りながら第4次計画を策定してまいります。

とりわけ、地域福祉活動を豊かにできるよう、第3次越谷市地域福祉活動計画の基本理念である「みんなが参画し　ともに築く　福祉のまちをめざして」の実現に向け、地域住民や市をはじめとする関係機関・団体等の連携を深め、本協議会の有する機能と役割を発揮し、各事業に取り組んでまいります。

〈重点施策〉

1　地域における福祉の基盤づくりの推進

地域共生社会の実施に向けた小地域福祉活動を推進するため、ふれあいサロンの運営や地域の中の課題をキャッチし、見守り活動等を行う福祉推進員の養成・資質向上のための研修を行い、活動の充実を図ります。

また、重層的支援体制整備事業（市受託事業）においては、複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、多機関が連携し、円滑に支援ができるよう調整役を担うとともに、課題を抱えながらも支援が届いていない方に支援が届くよう、継続的な伴走支援を行い、包括的な支援体制の構築を行います。

さらに、生活支援体制整備事業（市受託事業）における各地区地域支え合い会議で、住民が主体的に地域課題を把握し、解決に向けた具体的な活動の展開ができる地域福祉の基盤づくりの構築に努めます。

2　地域における支え合い、助け合い活動の推進

日常生活に支障のある高齢者世帯や子育て世帯等に家事支援を行う、ほほえみサービス事業では、住民相互の助け合いにより、学習機会等が十分に確保できないヤングケアラー等にも、関係機関等と協力しサービスを提供するとともに、引き続き、越谷市介護予防・生活支援総合事業住民主体サービス（訪問型サービスB）の実施団体としても登録し、地域包括支援センター等と連携しながら事業を展開します。

また、ファミリー・サポート・センター（市受託事業）では、地域において、子育て援助を行いたい方と子育て援助を受けたい方を会員として登録し、会員間による子育て援助活動を支援することにより、地域の子育て支援機能の強化を図り、安心して子育てできる環境づくりを目的に事業を推進します。

さらに、地域包括支援センター（市受託事業）では、介護予防ケアマネジメント業務や高齢者の実態把握、虐待への対応を含む総合相談に応じるとともに、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動等のさまざまな社会資源が、有機的に連携することができるよう、関係機関や地域住民との関係強化を図ります。

3　福祉教育の充実とボランティア活動の推進

地域住民に地域や福祉について学ぶ機会を提供し、身近な人々や地域との関わりの中から、「ふだんのくらし」の中でどのような課題があるかを学び、解決する方法を考え、行動する力を養うことで、「ともに生きる力」を育むことを目的とした福祉教育を推進します。

また、ボランティアネットワークの拠点として、ＳＮＳ等を活用し、ボランティアに関する情報を広く発信することで、多くのニーズに対応できる体制を整え、ボランティア活動の推進を図ります。

大規模災害が発生した際に被災者のニーズを把握し、迅速にボランティアを派遣できるよう、平時から行政、関係機関、地域住民と連携を図るとともに、災害ボランティアセンターの周知及び登録者等への研修を行います。

4　相談支援体制や権利擁護事業の充実

地域における様々な福祉課題及び生活課題に広く応じ、適切な支援と必要に応じて、専門機関、福祉サービス等につなげ、その福祉の充実を図ることを目的に、引き続き、重層的支援体制整備事業等と連携し、総合福祉相談による相談支援体制の充実を図ります。実施にあたっては、総合福祉相談の円滑な実施を図るため、本会全職員が種別や制度の垣根にとらわれることなく、コミュニティソーシャルワーカーとしての意識を持ち、地域住民の困りごとに対し、迅速かつ適切な対応に努めます。

また、成年後見センター（市受託事業）では、認知症や知的障がい、精神障がい等の理由により、判断能力が十分でない方々が地域で安心して生活できるよう、成年後見制度の普及、啓発に取り組むとともに、重篤な状態になる前に適切な支援につながるよう、引き続き、関係機関との連携により相談支援体制の充実を図ります。

5　介護サービス事業の充実と健全経営

介護保険事業や障がい者支援事業における介護サービス事業については、誰もが住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、在宅福祉サービスの充実を図り、包括的な支援を進めてまいります。

また、様々な援助を必要とする人の社会的孤立感の解消や心身機能の維持を通して利用者本位の自立を支援し、生活の質の向上に資するサービスの提供に努めます。

なお、継続的な事業経営にあたっては、制度改正の動向を把握し、適時適切な対応を図るとともに、サービスの担い手となる人材の確保・育成に取り組みます。

6　地域福祉活動推進のための運営基盤の強化

複雑化・複合化した福祉課題に適切に対応するため、計画的な研修体系等のもとに地域福祉を推進するうえで要となる職員の人材育成を行います。

また、社協だよりやホームページ、ＳＮＳを活用した広報活動、情報発信を行い、地域福祉活動への関心を高め住民参加を促進します。

さらに、地域福祉の推進や、住民の福祉活動やボランティア活動の支援を行うため、公的財源及び社協会費や寄付など自主財源の確保に努め、活動財源の確保に取り組みます。

社会福祉事業・公益事業・収益事業予算【収入】総括表

単位：千円

勘定科目（大科目）	社会福祉事業予算額	公益事業予算額	収益事業予算額
会費収入	14,504		
寄付金収入	2,000		
経営経費補助金収入	119,448		
受託金収入	634,114	132,573	
貸付事業等収入	2,760		
事業収入	1,347	8,594	6,708
介護保険事業収入	64,506		
障害福祉サービス等事業収入	86,160		
受取利息配当金収入	33,301		
その他の収入	775	120	
その他の活動による収入	137,179		
前期末支払資金残高	73,607	△ 13,460	
合　計	1,169,701	127,827	6,708
３会計の合計		1,304,236	

社会福祉事業・公益事業・収益事業予算【支出】総括表

単位：千円

事業区分	サービス区分	予算額
社会福祉事業	1　法人運営事業	200,550
	2　会員会費	19,291
	3　地域福祉推進事業	92,207
	4　ボランティア活動推進事業	4,895
	5　共同募金配分事業	27,996
	6　生活支援推進事業	△ 8,419
	7　生活困窮者等支援事業	24,478
	8　介護予防支援事業	9,930
	9　愛の詩基金積立事業	54,736
	10　愛の詩基金果実事業	21,768
	11　老人福祉センター事業	289,000
	12　障害者福祉センター事業	54,350
	13　障害者就労訓練施設事業	201,402
	14　介護支援事業	60,106
	15　訪問介護事業	△ 15,807
	16　障害福祉サービス事業	133,218
小　計		1,169,701
公益事業	17　ファミリー・サポート・センター事業	13,081
	18　成年後見センター事業	28,088
	19　地域包括支援センター事業	31,658
	20　市民プール管理運営事業	55,000
小　計		127,827
収益事業	21　自動販売機事業	6,708
小　計		6,708
合　計		1,304,236

※予算額には当期末支払残高が含まれますので、マイナスとなるサービス区分があります。

愛の詩基金 令和7年2･3月分 ありがとうございます

累計1,825,851,922円

現在、20億円を目標に積み立てを進めています

（令和7年3月31日現在）順不同・敬称略

越谷遊技業組合	200,000円
渡辺敦志	500円
植竹安維（2月分）	10,000円
ベルク越谷西方店	52,937円
ベルク越谷花田店	53,742円
ベルク東越谷店	39,827円
深井トシ	1,655円
植竹安維（3月分）	10,000円
桜井地区センター募金箱	1,159円
コモディイイダ越谷店	14,272円
匿名（2件）	3,500円
合　計	387,592円

くすのき荘 来館者300万人達成！

老人福祉センターくすのき荘の来館者が300万人を達成しました。4月11日に達成を記念して、記念式典が開催されました。

300万人目の来館者は、桜井地区在住の渡邊明さんでした。

式典では、市長から記念来館者証、当協議会会長から記念品が贈呈されました。